

## 学校教育自己診断の結果

### 1：児童生徒

NO	設 問	令和2年度の 肯定的回答率	令和元年度 との比較	令和元年度	平成30年度
1	学校は楽しい。	91.3	↑ 8.2	83.1	88.7
2	授業は、教材（プリントや資料など）や教え方など工夫され、わかりやすく楽しい。	89.1	↑ 1.4	87.7	81.7
3	先生はわたしたちのことを大切にしている。	95.7	↑ 4.9	90.8	91.0
4	自分の将来や進路について、考える機会がある。	62.2	↑ 5.3	56.9	62.5
5	先生は、いじめについてわたしが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	82.2	↑ 14.0	68.2	87.8
6	気軽に相談できる先生がいる。	80.4	↓ 8.8	89.2	75.9
7	自分やほかの人の大切さや社会のルールについて学習する機会がある。	77.8	↓ 3.7	81.5	85.1
8	先生はわたしたちの心や身体のことをわかってくれている。	93.5	↑ 4.3	89.2	80.0
9	先生は、周りの人とのつながりに気を配ってくれている。	93.5	↑ 5.8	87.7	83.9
10	行事は、楽しく参加できるよう工夫されている。	75.0	↓ 8.3	83.3	89.8

#### <コメント>

- ・宿題を少なくしてほしい。
- ・授業を週3回ではなく、週5回にしてほしい。
- ・クリスマス会をしたい。
- ・タブレットPCを使いたい。タブレットPCで勉強したい。
- ・自分の本を持ってこられるようにしてほしい。
- ・歴史や理科の授業の時に周りの人と話し合いたい。

## 2：保護者

NO	設 問	令和2年度の 肯定的回答率	令和元年度 との比較	令和元年度	平成30年度
1	子どもは、学校を楽しみにしている。	91.7	↑ 0.5	91.2	92.0
2	授業内容は、子どもに合うように工夫されている。	95.8	↑ 2.8	93.0	86.6
3	学校の教育方針に共感できる。	91.7	↑ 7.5	84.2	89.3
4	学校は、子どもの将来や進路などについて適切な指導を行っている。	75.0	↑ 4.8	70.2	86.5
5	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	75.0	↑ 17.1	57.9	75.7
6	学校は、人を大切にできる心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	79.2	↑ 3.8	75.4	84.7
7	学校は、ホームページ等で教育情報の提供について努力している。	79.2	↑ 16.0	63.2	86.8
8	教育相談や懇談のときなど、子どもの学習目標の設定に親も関わる機会が設けられている。	70.8	↓ 6.4	77.2	82.6
9	懇談や学校行事等に参加したことがある。	50.0	↓ 7.9	57.9	54.4
10	学校は、子どもの身体や心の状態を理解している。	95.8	↓ 0.7	96.5	94.0
11	学校は、前籍校や病院と連携して指導にあたっている。	91.7	↓ 3.0	94.7	69.6
12	学校は、日常の教育活動において、子どもの人権を尊重している。	87.5	↓ 5.5	93.0	61.6
13	学校は、地震や台風警報等への対応を保護者に伝えている。	54.2	↓ 1.9	56.1	56.6
14	学校は、子どものことについて、保護者の悩みや相談に応じてくれる。	91.7	↑ 5.7	86.0	49.4
15	保護者間で交流する機会がある。	45.8	↑ 12.5	33.3	23.7
16	行事は、子どもが楽しく参加できるように工夫されている。	37.5	↓ 55.8	93.3	48.4

### <コメント>

- ・先生方は、子どもの様子をみながらやさしく接してくださっているので、安心しています。
- ・短い期間ですが、丁寧にみていただいて安心しています。
- ・子どもの好きなことなどで、楽しく授業をしていただいて、ありがたく思います。
- ・本人のやる気、気持ちの切り替えなどできず迷惑をかける日もあるかと思いますが、よろしく願います。
- ・面会も制限されとても不安でしたが、訪問教育をしていただくことで勉強する習慣ができました。
- ・1対1で対応してもらえるので、本人の長所をのぼしてもらいながら学習できているので感謝です。
- ・体調不良で授業を受けられない日も多いので、進度が心配です。
- ・先生方がやさしく丁寧にゆっくり声をかけてくださるので、子どもはいつも楽しみにしています。
- ・どの先生もとても親切で、子どもの体や心の状態に寄り添ってくださっていると思います。

### 3：病院関係者

NO	設 問	令和2年度の 肯定的回答率	令和元年度 との比較	令和元年度	平成30年度
1	子どもは、学校（病棟）で学習することを楽しみにしている。	85.0	↓ 0.6	85.6	84.0
2	学校は、子どもの身体や心の状態を理解し、適切な指導を行っている。	86.7	↑ 9.2	77.5	88.8
3	学校は、子どもの治療や入院生活に良い影響がある。	94.7	↑ 2.2	92.5	96.8
4	学校では、子どもの個人情報を守られている。	85.0	0.0	85.0	87.8
5	学校は、病棟と連携して教育活動を行っている。	84.1	↑ 5.3	78.8	86.7
6	病院と学校の定期連絡会は役に立っている。	68.1	↑ 4.3	63.8	75.0
7	学校は、病弱教育の専門性向上のために努力している。	80.5	↑ 4.9	75.6	80.9
8	問題が起こった際、学校は迅速に対応できている。	78.8	↑ 8.2	70.6	84.0
9	学校の行事は、子どもが楽しく参加できるように工夫されている。	97.4	↑ 9.5	87.9	94.3

#### <コメント>

- ・どの教員に代表として相談してよいのか、わからない。
- ・設問6の定期連絡会が実施されているとは知りませんでした。
- ・ベッドサイド授業は、もう少し始まりと終わりのメリハリをつけた方が良いと思います。
- ・病棟との連携は、師長だけでなく現場で受け持ちのナースなどもう少しコミュニケーションを取られた方が、通学生に関する連絡調整がスムーズにいくと思います。
- ・教員が新しくなると、決まりごとが守られず、連絡がつながっているのか疑問です。
- ・コロナ禍でいろいろと制限がありますが、今後ともよろしくお願いします。
- ・いつも臨機応変に対応していただき、ありがとうございます。
- ・いじめ事案にはやく対応していただきありがとうございます。
- ・カンファ、治療等にご協力いただき、心より感謝しております。
- ・学校でトラブルがあった場合は特に病棟と連携し、解決をしていけたらと思う。あとは病棟でお願いしますというふうにならないようにしてほしい。
- ・治療と教育が連動しながら関わっていける環境は、とても貴重でありたいです。
- ・いつも子どもたちへの楽しい指導、ありがとうございます。

#### 4：教 職 員

NO	設 問	令和2年度の 肯定的回答率	令和元年度 との比較	令和元年度	平成30年度
1	職員会議や各分掌等、学校組織は有効的に機能している。	68.5	↓ 1.1	69.6	79.0
2	学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。	81.5	↓ 6.0	87.5	95.3
3	学校運営に、教職員の意見が反映されている。	64.8	↑ 7.7	57.1	66.7
4	年度末反省等、教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	64.8	↓ 3.1	67.9	82.5
5	公開授業や研究授業等、授業力向上に向けた取り組みが推進されている。	51.9	↓ 12.4	64.3	69.0
6	児童生徒の実態をふまえ、学習内容・方法の工夫・改善を行っている。	90.7	↓ 5.7	96.4	97.7
7	児童生徒の指導について、関係教員間でよく話し合っている。	88.9	↓ 4.0	92.9	97.7
8	児童生徒の指導において、家庭との連携ができています。	92.6	↑ 6.9	85.7	83.7
9	児童生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	79.6	↓ 2.5	82.1	88.1
10	いじめ（疑いを含む）が起こった際体制が整っており、迅速に対応することができている。	79.6	↑ 10.0	69.6	75.0
11	相談体制が整備されており、児童生徒は気軽に教職員に相談等することができる。	81.5	↑ 4.7	76.8	83.3
12	児童生徒が楽しく行事に参加できるよう、工夫・改善を行っている。	85.2	↓ 7.7	92.9	97.7
13	児童生徒会の活動が自主的にできるように、支援を行っている。	64.8	↑ 2.3	62.5	78.4
14	教育活動に必要な情報を積極的に収集し、児童生徒・保護者や地域への周知に努めている。	74.1	↑ 8.0	66.1	78.0
15	体罰やセクハラ等の防止をはじめ、人権尊重に基づいた指導が行われている。	83.3	↑ 4.7	78.6	85.8
16	個別の教育支援計画、個別の指導計画について本人・保護者のニーズを踏まえ作成している。	98.1	↑ 7.0	91.1	97.7
17	医療機関や前籍校との連携が活発に行われている。	90.7	↓ 2.2	92.9	86.1
18	個人情報保護の観点から児童生徒の個人情報に関する管理システムが整っている。	92.6	↑ 5.1	87.5	88.4
19	校内研修は、幅広い教育実践に役立つような内容となっている。	66.7	↓ 6.5	73.2	76.2
20	コンピュータ等の情報機器が、授業などで活用されている。	83.3	↓ 9.6	92.9	93.0
21	教育活動における悩みについて、気軽に相談しあえる職場の人間関係ができています。	85.2	↑ 6.6	78.6	85.7
22	刀根山支援学校では、服務規律への自覚が高い。	70.4	↑ 0.8	69.6	74.5
23	施設設備について日常的に点検し、自己・災害等時に迅速に対処できるよう、役割分担が明確化されている。	77.8	↑ 2.8	75.0	79.1
24	刀根山支援学校には、他の部・分教室と積極的に協力しようという雰囲気がある。	68.5	↓ 1.1	69.6	74.5
25	地域支援は十分に行われている。	64.8	↑ 7.7	57.1	66.6
26	防災教育・安全指導は十分行われている。	85.2	↑ 6.6	78.6	81.4

#### <コメント>

- ・各行事の反省を活かした計画づくりができていない。アンケートの結果を活かしていない。
- ・校内研修が少なすぎる。教科会を1～2か月に1回のペースで設定してほしい。
- ・コロナ禍の中では、いろいろと仕方がない面もあります。
- ・分教室間の交流があまり行われていないように思います。
- ・少人数の部署への教員配置について十分な考慮がされていない。本来、分掌管理職事務でされる業務が、各分教室長に依頼されていることが多い。